

保育闘争委員会ニュース 公的保育を守り拡充させよう

2010年
11月2日(火)
第8号

発行 = 東京自治労連保育闘争委員会 Tel.03-5940-7951 Fax.03-5940-7957 honbu@tokyo-jichiroren.org

足立区職労 非常勤含め全保育園 職員に資料手渡し

足立区職労は、10月26日の定期大会において、「子ども・子育て新システム」の導入を許さず、公的保育制度を守る決議を採択しました。行動日程も提起され、区職労全体で取り組みを強めていくことを確認しました。

例年保育園分会では、保育制度を守る秋の取り組みとして、学習会を行い署名宣伝行動に取り組んできました。しかし、分会委員会の参加率、各行動への動員率が弱体化している中で、署名筆数も目標に遠く及ばず、組合員に情勢を伝えることも困難な状況が続いていました。

しかし今年は、最大の危機であるこの情勢をすべての保育園で働く労働者に知らせることを重視して取り組みます。個別の封筒に、ちらし、学習資料、署名用紙2種類を同封し労働者全員に届くようにしました。非常勤職員にも一人ひとりに手渡しができるようにしました。また、保育園分会OBの方50人にも署名用紙を郵送してお願いしました。

正規職員821人、非常勤職員845人全ての人たちが「新システム」の内容を知り、行動に立ち上がるように訴えていきます。

「新システム」学習会、都内各地で大盛況

荒川保問協は、10月22日村山祐一氏を講師に学習会を開催。60人の会場に107人が参加し、資料が足りなくなり事務局が大慌て。公立、私立、4ヶ所の認証保育所から参加がありました。

武蔵野保問協は、10月22日に全保連の逆井直紀さんを講師に学習会を開催。50人の会場に70人が参加して廊下にまであふれました。署名目標は昨年を上回る12000筆に決め取り組んでいます。

大田区では10月21日に全保連の実方事務局長を講師に学習会を開催。78人が参加。11・14大集会への参加組織と当日のパフォーマンスも準備中です。

【東京都保育問題協議会「運動・署名広げるニュースNo.1」より】

全民間保育園へ署名等発送終了 これまでにない反応

全国の運動も進んできました。全国組織の「よりよい保育を！実行委員会」は、全国全ての認可保育園を対象に署名の協力要請を行うことを決め、全民間保育園への発送を終了しました。発送直後から「是非署名に協力したい。署名用紙はコピーして使ってもいいか」などの問い合わせが相次ぎ、すでに100近い保育園から署名用紙やカンパが返送されるなど、これまでにない反応が返ってきています。

また、mixi（ミクシー）の保育・子育て関係コミュニティで制度改革のことが話題になっており、署名やチラシなどがネット上で紹介され、全保連への問い合わせも相次いでいます。街頭署名の反応もよく、群馬（高崎駅頭）では1時間でなんと1300筆の署名が集まっています。参加した多くの子どもたちの訴えが驚くべき署名数につながったようです。

【全保連「運動・署名推進ニュースNo.1号」より】

大阪 1000人の集会開催

10月17日、大阪城公園で「子どものいのちと育ちを守る大集会」が開催され、1000人が参加しました。認可外施設で子どもを亡くされた保護者などの切実な訴えをうけ、大阪での100万署名達成をめざし決意を固めました。集会後300人が各ターミナルで宣伝・署名活動を行いました。

熊本 シンポから共同の拡大へ

熊本では11月5日にシンポジウム「新制度で保育・教育はどう変わる？」を開き、あわせて幼稚園、保育園の園長、保護者に呼びかけ、賛同をつのり、学習・交流・運動の輪を広げる「新保育制度に反対し、保育・教育を考える会」の結成を準備しています。

【全保連「運動・署名推進ニュースNo.1号」より】

11・14 保育大集会への参加組織を全力で強めましょう！

【傘下の組織や保育関係者に配信・配布してください。配信希望者は氏名と所属、「保育闘争委ニュース希望」を明記しパソコンよりメールで申し込んでください】